

学 会 記 事

◎第6回理事会(昭.33.11.27)出席者:米田会長,篠原副会長,中安,藤村,国分,小野,西島の各理事。議事:1)10月中の行事その他報告,2)昭和33年度土木賞委員会委員候補者について,3)昭和34年度文部省科学研究費等分科審議会委員候補者推薦について,4)第3回原子力シンポジウムの幹事学会受諾承認,5)昭和33年度国鉄技術研究部外委託「長大橋梁および高張力鋼鉄道橋に関する研究」を受託承認,6)チェコスロバキア国よりの土木関係文献照会について,7)各種委員会委員追加委嘱を承認,a)フライアッシュ小委員会に杉木六郎,太斉宗一の両氏を追加,b)長大橋梁および高張力鋼鉄道橋研究委員会に中村素氏を追加,c)論文集編集委員会第1部会山口柏樹氏任期満了のため後任に平嶋政治氏を,第3部会市原松平前委員の後任に山口柏樹氏をそれぞれ委嘱,8)土木学会職員就業規則案について,9)10月中の会員入退会承認(別掲)。

◎各種委員会

1. 第6回会誌編集委員会(昭.33.11.20)出席者:田原委員長,尾崎,三上,岡崎,南部(代西原),上東,樋口,海保,奥村,南,伊東(代養王田),諫山,尾崎(北海道),後藤(東北)の各委員,深谷幹事。議事:1)原稿審査報告,2)新規受付原稿審査委員の決定,3)依頼原稿の件,4)新規講座についてアンケートを求める件,5)44巻の表紙について,6)新年度の編集方針について,7)土木賞について,8)文献目録欄について,9)44巻1号登載原稿を次のとおり予定した。

米田会長:巻頭言

太野垣俊彦:大阪市庭窪浄水場建設

村山,植下,斉藤:路床土支持力比(C.B.R)の簡易測定法としての球体落下試験について

猪股俊司:プレストレストコンクリート桁を併列した床版橋の横方向剛度について

成岡昌夫:構造解析におけるDigital Computerの応用(II)

三村誠三:発電水力の将来と経済性

2. 第6回会誌編集小委員会(昭.33.11.6)出席者:田原委員長,南部(代西原),三宅,栗津,綱干(中国四国支部)の各委員,深谷幹事。議事:1)43巻12号会誌を増大号とすることとし,116ページの予定で内容を検討した,2)中国四国支部よりの要望事項を協議(講座の件,広告内容の件)し,本委員会にはかることとした。

3. 第3回論文集編集各部委員会(昭.33.11.7)出席者:第1部会高田部会長,伊東,松崎,奥村,田島の各委員,第2部会竹内,栗津,松田,岡田,伊藤(代),嶋の各委員,第3部会西亀,山口の両委員,第4部会

友永部会長,黒河内,村山,渡部,大島の各委員 徳平幹事。議事:1)各部会ごとに審査報告および新規受付原稿の審査委員の決定,2)論文集投稿要項(案)について審議,3)昭和33年度土木賞候補論文審査担当委員の決定,4)その他。

4. 第3回論文集部会長会(昭.33.11.13)出席者:国分編集部長,友永委員長,田島,山口,嶋,竹内,渡部の各委員,徳平幹事。議事:1)各部会報告,2)論文集61号(昭.34年3月発行予定)登載原稿の予定,3)論文集60号・別冊(昭.34年1月~2月発行予定)として3編の出版を予定した,4)1部会山口委員任期満了につき後任として平嶋政治氏(早稲田大学)を推薦した,3部会市原前委員(5月退任)の後任として山口柏樹氏(第1部会委員,中央大学)を新しく推薦した,5)その他。

5. 第6回会誌文献調査委員会(昭.33.10.31)出席者:樋口委員長,伊能,日野,津野,小池,高秀,岩間,丸山,片山,野口,新谷の各委員,矢島幹事,御靴氏(科学技術情報センター)。議事:1)43巻12号登載の文献抄録および目録の選定,2)新しい文献目録カードの決定,3)文献複写について協議,4)次回委員会を12月3日に予定,5)その他。

6. 高張力鋼鉄道橋研究委員会小委員会(昭.33.11.11)出席者:田中委員長,奥村,友永の各委員,西村,田島,阿部,大宮,伊藤の各幹事。議事:同月19日の本委員会開催の打合せ,その他。

7. 高張力鋼鉄道橋研究委員会(昭.33.11.19)出席者:田中委員長,奥村,沼田,平井(代倉西),友永,田原,村上,田中(五)の各委員,西村,菊池,田島,阿部,大宮,安浪,伊藤の各幹事。議事:1)長大橋梁および高張力鋼鉄道橋に関する研究について,2)高張力鋼鉄道橋示方書48条~81条を審議検討した。

8. 第3回交通シンポジウム打合せ(昭.33.11.17)出席者:田原委員長,八十島氏(東大),深谷幹事。議事:1)八十島氏執筆の原案を審議し今後の方針をきめた,2)座談会の計画について下打合わせを行なった。

9. 海岸工学委員会および波力小委員会(昭.33.11.21)出席者:本間委員長,嶋野,渡部,石原,沼田,岸,宇野木,岩垣,新妻,速水,真嶋,永井,佐島,栗津,浜田,福島,久宝,井島(代佐藤),太田尾(代井島),林の各委員,伊藤,村木,椿,足立,岩佐,広谷,鮮子,春田の各講師。議事:第6回海岸工学講演会を来年11月中旬新潟市において開催する旨決定した,次回水理委員会を本年12月10日開催する。

10. 第5回フライアッシュ小委員会(昭.33.11.28)出席者:国分委員長,有泉,伊東(代養王田),三浦,杉木,平野(生)(代野木),太斉,関,河原,高野(代塩田),左右田,高橋,武藤,本間(代藤田),光岡,久木田,平野(硬)(代石川),石垣の各委員。議事:1)委員の追加委嘱

の件、伊東茂富、杉木六郎、太斉宗一の3氏、2) 昭和33年9月に採取したフライアッシュの共通試験(第3次)結果について各委員から中間報告があり検討した、3)各工場で調査したフライアッシュ(豊水期に採取した試料)の品質均等性について報告された、4)引続き濁水期に採取したフライアッシュについて品質均等性を調査することとした。

11. プレストレスト コンクリート 設計施工指針改訂各部門小委員会を、それぞれ次のように開催した。

施工部門小委員会 11月6日 極東鋼弦コンクリート
振興KK

鋼材部門小委員会 11月7日 同上
設計部門小委員会 11月13日 土木学会会議室
材料部門小委員会 11月19日 同上
設計部門小委員会 11月28日 同上

12. ハンドブック 改訂各部門小委員会をそれぞれ次のように開催した。

道路橋小委員会 11月12日 土木学会会議室
橋梁総論小委員会 11月12日 同上
河川小委員会 11月25日 同上

◎講演会その他

1. 第5回海岸工学講演会

日時: 昭和33年11月21,22日

場所: 横浜市 海員会館

講演題目: 25題

参加者: 第1日(21日) 160名

第2日(22日) 131名

内訳:	(第1日)	(第2日)
建設業者	4	4
電力会社	5	4
農林省	2	7
運輸省	58	40
建設省	9	9
大学	39	38
都道府県	36	27
その他	7	2
計	160	131

見学会: 11月22日 13.00~17.00時

A班 東京電力横須賀発電所と運輸技術研究所 参加者 53名

B班 横浜、川崎両港施設の視察 参加者 40名

C班 江の島、鎌倉海岸視察 参加者 8名

2. 第5回風に関するシンポジウム

日時: 昭和33年11月11日(火) および12日(水) 10時より

場所: 建設省建築研究所

参加学会: 日本海洋学会, 日本気象学会, 日本建築学会, 日本航空学会, 日本地理学会, 日本地震学会, 土木学

会, 日本農業気象学会, 日本林学会, 日本火災学会
講演題目: 13題

参加人員: 約40名

終了後、懇親会を行なつた。

3. 力学研究連絡委員会懇談会

日時: 昭和33年11月18日(火) 13.30時~15.00時

場所: 日本学術会議会員控室

出席者: 中西委員長, 西田(応物), 曾田(機械), 竹内(建築), 粟野(航空), 今井(物理), 小野, 堀内(土木), 佐々木, 鶴岡, 若林(学術会議)

議事: 1) 来年度第9回講演会の開催を決定

2) 幹事学会に日本機械学会, 日本航空学会が選定された

3) 開催地を名古屋とする旨決定

4) 欧文論文集を刊行する

5) その他

4. 原子力特別委員会「第3回原子力シンポジウム」

第2回打合せ(33.10.29) 議事: 1) 幹事学協会の選出
化学工業協会, 日本機械学会, 電気学会, 土木学会, 日本金属学会, 日本建築学会, 以上6学協会は会場係, 日本化学学会は懇親会係と決定, 2) 分担金について 総額54

万円(昨年度は67万円)とし, 学協会の分担は昨年と同様(土木学会は7000円)の見込み, 3) 関係図書の展示会を開く。第3回打合せ(33.11.26) 出席者: 企画委員7, 幹事学協会7, 阿部事務官外1

議事: 1) 予算

収入 54万円

共催学協会分担金 15万円

寄付金(原研その他) 29万円

日本学術会議 10万円

計 54万円

支出 54万円

会場費その他 54万円

他に日本学術会議は海外用プロシーディング費用として20万円を支出する

2) 会場の分担を決定した

3) 研究発表申込数は262件である

支 部 だ よ り

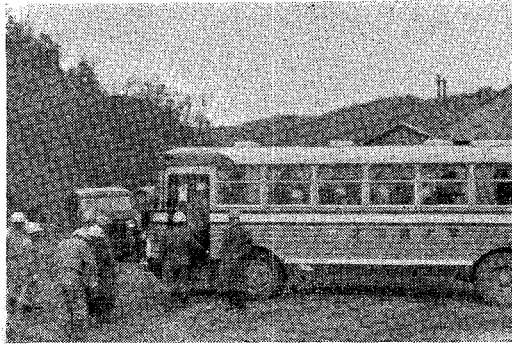
1. 北海道支部 33年度第2回見学会(昭33.11.12)

北海道支部第2回見学会として堤体コレクリート打設の始まつた大夕張ダム工事現場の見学を行なつた。参加者51名は午前8時30分バスで札幌を出発し由仁町を経て石炭の町夕張市を通りダムサイトに到着, ここで大成建設大夕張作業所長 大野一郎氏より工事概要, コンクリート打設計画の説明をきき3班に別れて原石山, 砕石工場バッチャープラントおよびダム本体を順次見学し

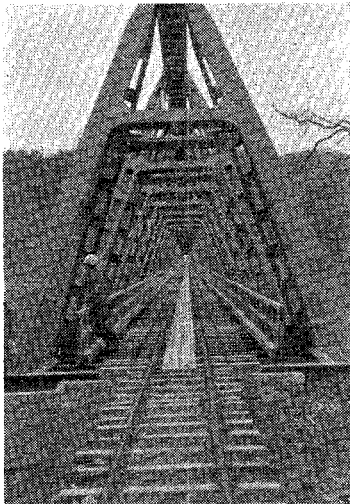
左岸ケーブル クレーン直下にて



セメント フラクソー室を出て



森林軌道三弦橋 (ダム サイト上流)



た。このダムは堤高 67.50 m, 堤長 258 m, 堤体積 19 万³m³ の重力式であつて有効貯水量 6 937 万³m³ の容量を持ち, 最大出力 14 700 kW, 年間 66 500 000 kWh の発電を行ない電力不足を補うとともに, 下流川端地点に計画中のダムとあわせて, 既成水田 7 720 町歩の完全補水と新規開田 4 144 町歩の用水源を確保する目的である。

これらはすべて北海道開発局により計画され大成建設

が作業に当たっているものである。工事は 33 年度 1 万³m³ のコンクリート打設予定とのことであつた。まだ初期段階ではあつたが配備された各種建設機械はこれらが 35 年 11 月の湛水開始を目標に縦横に活躍する偉観を想起させるに十分であつた。現場見学を終つて開発局 館谷技官のダム設計上の要点についての説明があり, ついで質疑応答並びに懇談会にうつり, などやかな昼食を楽しみつつ徹談尽きないながらも, 午後 2 時過ぎ秋晴れの山間に別れをつけつつ帰路についた。

関西支部

(1) 第 1 回技術講座講師打合せ (昭.33.11.5) 中央電気倶楽部

出席者: 安宅 勝, 田中 清, 伊藤富雄, 岩井重久, 松尾新一郎, 岩垣雄一, 畑中元弘, 永井莊七郎, 水野俊一, 城塚孝雄の各講師, 石原支部長, 近藤幹事長, 八木, 大島, 松尾の各幹事。

(2) 第 9 回幹事会 (昭.33.11.5) 中央電気倶楽部

出席者: 石原支部長, 近藤, 伊藤, 大島, 松尾, 八木の各幹事。

(3) 臨時役員会 (昭.33.11.5) 神戸大学工学部土木工学教室

出席者: 石原藤次郎, 伊藤富雄, 松尾新一郎, 吉田喜市, 合田 健, 畑中元弘, 小西一郎, 近藤泰夫の各氏。

(4) 第 4 回商議員会 (昭.33.11.27) 大阪建設会館 (大阪市東区京橋 3 丁目)

出席者:

商議員 丹羽義次, 山本芳樹, 明石外世樹, 上原正, 室田 明, 倉田宗章, 畑中元弘

常議員 玉井正彰, 藤田峻五

編集委員 小西一郎

支部長 石原藤次郎, 幹事 伊藤富雄, 石田 聖, 大島哲男, 別所多喜次, 松尾新一郎, 八木健二

(5) 第 10 回幹事会 (昭.33.11.27) 大阪建設会館

出席者: 石原支部長, 伊藤, 石田, 大島, 別所, 松尾, 八木の各幹事。

(6) 学術講演会 (昭.33.11.9) 神戸大学工学部土木工学教室

一般講演 51 題 9 時~17 時

特別講演 13 時~14 時

オートメーションの経営 神戸大学教授 平井泰太郎
におよぼす影響について 経営学博士

参加者 130 名

(7) 第 1 回技術講座

聴講者 500 名以上の参加があり, 目下盛んに進行中である。

(8) 社団法人土質工学会関西支部誕生

11 月 6 日, 土質工学会の関西在住会員により支部が結成された。その発会式に支部長が出席, 祝辞を述べた。

プレパクト・コンクリート及びその応用【理工文庫】

西松・岡本・高橋 共著 理工図書刊

プレパクト コンクリート（土木学会では従来注入コンクリートといっていたものを今後はプレパクト コンクリートということにした）は現在世界各国において相当の規模で実施されている。米国のプレパクト コンクリート、英国のコンクリート、ソ連の ВР, ВН, ИИ「工法等はその主たるものであるが、本書は米国と技術提携した西松建設、清水建設社の技術者により、プレパクト コンクリートに関する基礎的実

験、施工した実例、見聞したこと等について述べられたものである。

以上のとおりであつて、本書の中にプレパクト コンクリート全般についての総合的な考察の見受けられないことは物足りないが、本書の性格上やむをえないかも知れない。いづれにせよ、わが国で現在行なわれているプレパクト コンクリートは、おおむねその範を米国のプレパクト コンクリートにとつていること、プレパクト コンクリートに

ついて書かれた単行本はあまり見受けられないこと、等の点を考えると、この方面に興味を有する現場技術者にとつて有益な本が現われたといつても不当ではないと思われる。

著者：西松醇厚（正員 西松建設 K K 副社長）、岡本 港（正員 清水建設 K K 技師長）、高橋敦夫（正員 西松建設 K K 土木部）；新書判 140 ページ、定価 200 円、昭.33.11.1 発行。

プレストレスト・コンクリート技術協会への入会について

去る 2 月発足した同会では現在会員を募集中です。協会規約、入会申込書など下記へハガキで申込めば郵送されますから詳細は問合せて下さい。

事務所：東京都千代田区丸の内 3-8（三菱仲 6 号館 4 号）プレストレスト・コンクリート技術協会

会 員 入 退 会 報 告（昭.33.11.30 現在）

1. 入 会	65 名（正 28, 学 37）
2. 復 活	1 名（准 1）
3. 退 会	14 名（特 3 1, 正 8, 准 4, 学 1）
4. 転 格	2 名（特 3 より特 2 へ 1, 准より正へ 1）

会 員 現 在 数（昭.33.11.30 現在）

名誉員	賛助員	特 1 A	特 1 B	特 1 C	特 2 級	特 3 級	正 員	准 員	学生員	増加	計
26	30	17	12	70	113	102	8 913	4 279	1 050	+52	14 612

学生員 山 本 晃 君 広島大学工学部土木工学科在学中 昭和 33 年 6 月 28 日逝去 22 才

昭和 33 年 12 月 10 日 印刷
印刷者 大沼正吉
編集者 国分正胤
定 価 100 円

昭和 33 年 12 月 15 日 発行
印刷所 株式会社 技報堂 東京都港区赤坂溜池 5 番地
発行所 社団法人 土木学会 東京都新宿区四谷一丁目(外濠公園入口)
振替 東京 1628 番 電話 (35) 5130・5138・5139 番

土木学会誌 第 43 卷 第 12 号